

2016年1月4日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
お問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

都市を託される責任。



PRESS RELEASE

2016年 年頭所感 ～これからの経営戦略～ 森トラストグループ 代表 森 章

昨年は、中国経済の成長鈍化や米国の利上げ、地政学的リスクの高まりなど、世界各地で生じた様々な事象が相互に影響し合い、先行きの不透明さが増した一年であった。日本経済も、日経平均株価が一時、2万円台を回復し景気の浮揚が見られる一方で、個人消費や輸出の伸び悩みにより回復基調が足踏み傾向を示すなど、安定的な成長軌道に乗り切れない状態が続いている。

少子高齢化や人口減少により潜在成長率が低い今日の日本において、成長戦略の実現のためには生産性を向上させなければならない。そのためには、年金・医療・労働などあらゆる分野における構造改革や規制緩和が求められている。その上で、昨年の TPP 交渉の大筋合意を契機とした農業改革や、インバウンドに対応した観光産業の強化など、地方創生にも繋がる有望分野で、国を挙げて中長期的な成長産業を育成することが日本経済の更なる発展に必要不可欠である。

森トラストグループは、不動産事業において、虎ノ門・赤坂・三田などの都内主要エリアで総延床面積約 50 万㎡の開発計画を抱えており、次世代を見据えた高水準の都市機能を提供していく。また、時代の変化に合わせて柔軟にビジネスモデルを構築し、投資対象の用途を広げるとともに、開発物件の一部分譲なども含めた多様なスキームを検討していく。

ホテル&リゾート事業においては、都心部の開発に多様な形態のホテルを組み込むことで、都市の国際競争力の向上に資するとともに、地方におけるリゾートホテルの開発や、大規模リノベーションにより、インバウンドの更なる増加や地方創生の牽引役を担っていく。

投資事業においては、ディベロッパーおよびオペレーター双方の立場で、国内外のブランドを多様な形態で開発・運営してきたグループのノウハウを活かし、ホテルマーケットの一層の活性化に貢献するべく、ホテル特化型の新 REIT の上場を目指している。また、円安・低金利を背景とした、海外投資家等の国内不動産に対するニーズの高まりに柔軟に対応し、機動的に商機を取り込む。さらに、ポートフォリオをより広域に見直し、海外案件も積極的に視野に入れながら、事業領域を拡大していく。

今後、五輪に向けて様々な分野の投資が集中することで、五輪後に「経済の崖」が生じることが懸念される。世界情勢が大きく変動する時代において、企業の安定成長のためには、既存の事業を発展させ経営基盤の強化を図りながら、新たな要素を加える柔軟性が必要である。森トラストグループは、各事業において積極的に新規プロジェクトを推進し、自己資本比率は 30%程度水準を維持しながら、現在の簿価総資産約 1 兆円からの更なる発展を目指して、持続的に成長可能な戦略を選択していく。

以上